



遅れてきたアイアンマン
挑み続ける幸せ。

Mag-on Your Challenge
#010



アスリートの挑戦に、マグネシウムを

木村勝臣さん

トライアスリート
2015アイアンマン・ジャパン北海道完走
株式会社日直商會 取締役営業部長



Katsuomi Kimura

学生時代はアルペンスキーにのめり込み、その実力はインカレでも入賞を果たすほど。卒業後はその経歴を生かして、さまざまな外資系スポーツブランドのプロモーションを担当する。現在はデローザ、ミシュランをはじめとした、数多くのサイクルギアを取り扱う株式会社日直商會に在籍する。十数年前から立てていた予定どおり、2年前からトライアスロンを始め、今シーズンついにアイアンマンに挑戦し、完走。北海道・旭川出身、52歳

明日になったら、来年になったら始めよう——。未来の「ある日」を目標にして何かを始めようとする人は多い。しかし人の意思は弱く、「明日から始めるダイエット」は、なかなか始まらない。今年の北海道でアイアンマンの仲間入りをした木村さんは、十数年前から考えていた「50歳になったらトライアスロン」を実現した。

「深い意味はないんですが、ちょうど下の子どもに手がからなくなるのが、50歳だっただけなんです。時間も使えるようになるし、この歳なら挑戦しやすいかなと思って」

そこで門を叩いたのが稲毛TTC。オリンピックをはじめ数多の名トライアスリートを輩出する名門クラブだ。「稲毛では6コース使ってスイムトレーニングをするのですが、自分が一番遅いレベルの6コース。スイムが苦手なので分かっていましたが、自分よりもかなり年上な人がガンガン泳いでいる。ショックでもありませんが、やればやっただけ速く上手くなるのも分かった。この歳でまだ成長できることがあるのが嬉しくて。すぐにトライアスロンにのめり込んでいきました」

練習できるのは基本的に週末。朝スイムの後、メンバーと一緒にバイクに乗って、さらにランニングに出かけることもあったという。

「100kmを超えるライドイングなど、激しい練習をすると、決まって脚にトラブルがありましたね。ミスター・ケイレンと言われるくらい(笑)。でもマグ・オンを摂るようになってからは、何事もなく走れています。ジャパンのときには顆粒タイプをバイクで3包、ランで2包。ジェルタイプも携って

闘い続けるアスリートを応援する
《水溶性マグネシウム》

Mag-on® (マグ・オン)

不足しがちなマグネシウムを素早くチャージ

毎日のトレーニングやレースでの発汗、ストレスなどにより失われる必須ミネラル「マグネシウム」を効果的に吸収。Mag-on®は、高純度な国産のマグネシウムを、素早く溶けて、吸収率の高い水溶性に加工した、アスリートのためのサプリメントです。

毎日必要な水分にマグネシウムをオン!

Mag-on®ラインアップに待望のドリンクタイプが登場。スポーツの前・中・後はもちろん、日々の生活の中の水分補給と併せてマグネシウムをとれる、新しいタイプのコンディショニングウォーターです。



NEW

10本入り ¥1,800(税別)
マグネシウム120mg
ドリンクパウダー
1本4g
フレーバー/ゆず、ライム

スティック1本を
500mlの水に溶かして飲む
ドリンクパウダー

ここぞ!というタイミングで ガツンとMgチャージできる決戦仕様

30包入り ¥6,900(税別) 8包入り ¥2,000(税別)
マグネシウム200mg

1包3.7g レモンフレーバー/顆粒タイプ
カルシウム、各種ビタミン類も配合



マグネシウムを一気に200mg、急速チャージ
できる決戦サプリとして人気

エネルギーと一緒にMgをとる おいしいエナジージェル

¥280(税別)
エネルギー120kcal 1個41g
マグネシウム50mg フレーバー/梅、グレープフルーツ



両フレーバーとも
甘過ぎず、ほどよい酸味や苦みのある
飲みやすい味

ましたが、甘過ぎずおいしく食べられるのが力になりました」
集中力が高まった、いつも良いコンディションでいられる。トライアスロンで得られたのは、競技面での楽しさだけではなく、普段の生活や仕事の面でも大きなものが得られた。
「今ではトライアスロンが生活の中心になってしまった」という木村さん。始めてしまったら、あとは継続するのみ。この競技の演者としてはまだ新人遅咲きのルーキーの進化は、まだ止まらない。



8月23日に開催されたIMジャパン北海道のフィニッシュエリアで。直前まで悩まれた脚の不調も、当日は何とか治まり見事アイアンマンに

